

ネオビット®

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

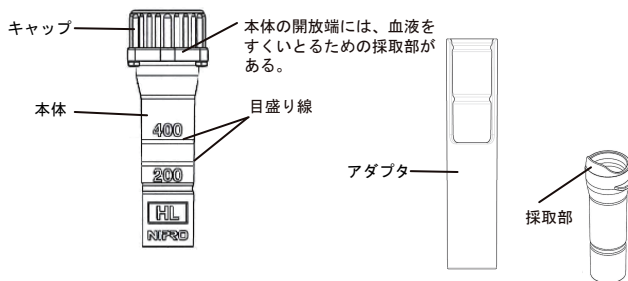
1) 再使用禁止

- 2) 本品に採取した血液を人体に戻さないこと。[採取した血液の安全性が確保できていないため。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は各種血液検査等に必要の血液を採取する器具で、本体、キャップ及びアダプタからなる。またアダプタは、遠心分離の際に必要なに応じて本体に装着する。本体内に種々の添加物を密封する場合があります、本体には目盛り線が1本又は2本表示される。



2. 材質

本体	ポリプロピレン
----	---------

【使用目的又は効果】

本品は、血液検体の採取、輸送、保管に使用する。

【使用方法等】

1. 検査用途に合った品種を選択します。
2. 穿刺部位の消毒等を行います。
3. 注射針付き注射筒や穿刺器具を用いて血液を採取します。
4. 本品のキャップを取り、血液を本体の管壁に沿わせながら規定ラインまで移します。注射針付き注射筒より血液を移す際は、誤刺に注意しながら注射針を取り、ゆっくり注入します。
5. キャップをして、転倒混和します。
6. 血清分離剤入りの場合、転倒混和後、3,000Gで10分間遠心分離します。遠心分離の際、必要に応じてアダプタを装着します。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. 再栓するときは、確実に押し込んでください。[適切に再栓されなかった場合、血液が漏れるおそれがあります。]
2. 再栓には、最初に付いていたキャップを用いてください。[他の検体の混入により、正確な検査結果を得られないおそれがあります。]
3. 血液を採取後直ちに穏やかに10回転倒混和してください。[転倒混和が不十分な場合、凝固促進剤入り品種では凝固不良が、抗凝固剤入りの品種では血液凝固が発生するおそれがあります。]
4. 転倒混和する際は、激しく振らないでください。[正確な検査結果を得られないおそれがあります。]

5. 血清分離剤入りの場合、血液の凝固を確認してから遠心分離を行ってください。[遠心分離後にフィブリンが析出するおそれがあります。]
6. 遠心条件は以下を推奨します。[遠心条件が適切でなかった場合は、血液が十分に分離せず、正確な検査結果が得られないおそれがあります。分離剤が浮上しないおそれがあります。]

RCF	時間	温度
3,000G	10分	15~24℃

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品は血液検体(血清、血漿、全血)を収容する容器で、採血後の血液の処理、保管、又は輸送等に用いる。他の用途へ転用しないこと。
- 2) 穿刺器具(ランセット)を用いて指先、踵等から採血した血液は固まりやすいので、凝固検査用の製品を使用の際はすみやかに血液を収容すること。
- 3) 本体側、本体の採取部及びキャップ内側を触らないこと。
- 4) 血液検体をビリルビン検査に使用する場合は、適切な器具で遮光すること。[正確な検査結果を得られないおそれがある。]
- 5) 血清を採取する場合は、採取した血液を十分に凝固させた後、血清を採取すること。
- 6) アダプタ使用時は無理な力をかけてキャップ操作をしないこと。[容器が外れるおそれがある。]
- 7) 血清分離剤入りの品種は、分離剤による隔壁形成後に、振動を与えることや、長時間の横倒しによる放置を避けること。
- 8) 血清分離剤入りの品種は、隔壁形成後に再度遠心分離を行わないこと。[検査値に影響を及ぼすおそれがある。]
- 9) 添加物の抗凝固剤EDTA-2Kは、褐色に変色する場合がありますが、品質には影響ない。
- 10) 本品をそのまま用いて検査する場合は、分析装置メーカーに適合の可否を確認し、必要に応じて調整してから使用すること。
- 11) 遠心分離後の検体を凍結保存等する場合には、そのまま保存せず、血清又は血漿を別容器に移し替えて保存すること。

【保管方法及び有効期間】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装の使用期限欄を参照のこと。

有効期間：滅菌後1~1.5年

【製造販売者及び製造業者の氏名又は名称等】

*製造販売(お問い合わせ先)

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00~17:15(土・日・祝日を除く)

製造

ニプロ(上海)有限公司

[NIPRO (SHANGHAI) CORPORATION LIMITED]

中華人民共和国

[People's Republic of China]



ニプロ株式会社